

05 LOVEあばしり

東京でも配布中のミニコミ紙！ 網走・オホーツクの魅力をお届け！

■発行元：LOVE あばしり実行委員会 www.facebook.com/loveabashiri ■お問い合わせ先：we_love_abashiri@yahoo.co.jp ■編集長：渡辺和也
 ■企画・編集：伊藤雄一/北乃勤九郎/北畑紀和/清原鉄男/佐藤正隆/杉本かなえ/平賀貴幸/松原美里/吉田智美/渡辺和也 ■構成：板橋幸太郎/川原田晋也 ■発行日：2013年12月10日

協賛 船陽電機/佐藤正隆行政書士事務所

私は網走で生まれ育ち、父や親戚などが漁師だったこともあって日々たくさんの魚介類を食べ、農家の知り合いから採れたての新鮮な野菜など頂いたり、かなり恵まれた食生活の中で育ったと実感しています。現在は音楽家として活動していますが、音楽の学校に行くために東京に来て半年後、原因不明のジンマシンが全身に広がり、あらゆる治療を試みましたが効果はなく1年半ほど苦しんだことがあります。自分の夢を実現するまでは網走に帰らないと決めていたのですが、「1週間位ゆっくり帰っといで」と親に勧められ帰省したところ、長く悩まされていたジンマシンが3日で消えました。

東京に来てから網走との食の違いにずっと悩み、我慢していたのですが、それからは東京に戻っても網走の食材を食べるようになり、「網走では当たり前だと思っていたものが東京だとすごいものなんだ」と知ったのです。

こんな話を周りにしていると網走の食材を提供して欲しいという依頼が増えるようになり、「本当に良い食材を求めている人に食べてもらいたい」と、3年ほど前から音楽の仕事で培ったネットワークを生かし、会員制のレストランなどに網走食材を提供してきました。この間、販売先や、趣旨に賛同する仲間も増え、近く会社を設立する予定となりました。社名は今も使用している「ツナグマ」です。

この名前は、今までの人生で感じた人と人とのつながりの大切さ、「まちとまちをつなぐ」「マーケットとマーケットをつなぐ」という意味が込められています。



近年、日本人の魚離れが進んでいるといわれますが、私もそのことを実感しています。肉は、主に牛、豚、鳥と数種類ですが、魚は何百種類もあり、それぞれアンチエイジングやDHAが豊富に含まれるスーパーフードです。日本人が昔から食べていた魚の良さを再認識していただきたいのも私の願いです。「網走の本当によい物を、多くの人に知ってほしい」そんな強い思いとともに命を懸けて捕ってきた新鮮な魚介類や食材を広めて行きたいです。

網走にいとわらない事でも、東京にいと感することがあります。東京でのニーズを把握し、網走の生産者のみなさんと協力しながらこの事業を進めていければと考えています。

網走は私のルーツ。たくさんの思い出や大切なものが詰まった所。旅が大好きな私は国内、海外いろいろなところに行きましたが、やっぱり網走が一番落ち着きます。大好きな網走に感謝を込めて、もっと沢山の人の良さを知ってもらいたい。そう願っています。

(文：金澤このみ)



すごく美味しく安全な物を、大切な人と安心して食べる事。特別ではない普通の感覚を知ってもらいたい。

網走の魅力とは？



皆さんこんにちは。

網走の魅力と聴かれて最初は戸惑う方もあるかもしれませんが。そこで今回は四季折々の魅力を紹介したいと思います。

最初に春。植物が芽吹く季節。天都山の桜が満開になると、ピンクロードに。そして呼人の水芭蕉群生地には、見た瞬間息を呑むほどの美しさ。

夏はパワーアップした花火大会。道の駅「流水街道網走」で開催される音と光の饗宴はパーベキューをしながら盛り上がる、夏の風物詩です。

秋は徐々に変化していく紅葉の季節。そして是非見て欲しいのが黄金色に輝く小麦畑。夕日が沈む頃には、光の反射で黄金色に見えるのです。

最後は冬。やはり網走に欠かせない流氷。知床連山のコントラストが美しいのですが、これを見るためには幾つかの気象条件があります。まず晴れていること。時間は14時～16時の間。この条件がそろった瞬間にこう言うでしょう。「絵になるなあ」と。

網走の魅力は四季折々の風景と美味しい食べ物の数々。このことをもっと伝えていきたいです。

(文：向山寿)

網走と映画の関係

2014年全国東宝系ロードショー「抱きしめたい-真実の物語-」

今回から個人的な趣味でもある映画について紹介させて頂くことになりました。しかもテーマは「網走を舞台にした映画」。網走を舞台にした映画はいろいろありますよね。これには網走でロケをしたものも含まれます。

これらの中から選んだ記念すべき最初の映画は「抱きしめたい-真実の物語-」。市内や近隣で撮影されていたので、記憶に新しいと思います。

かくいう私も撮影現場にお邪魔し、関ジャニ∞の錦戸亮さんにお会いしました。残念ながら北川景子さんにお会いすることは出来ませんでした。私の話はさて置き、公開前のこの映画をテーマに選んだ理由は…単純に話題性としてホットだから(笑)というわけで今回は映画レビューではなく、あらすじについて書きたいと思っています。

この奇跡のラブストーリーは、皆さんもご存じのとおり網走で実際にあった出来事。活発でスポーツが得意なつかささんは高校時代に遭遇した交通事故の影響で左半身が不自由となり、車椅子での生活を余儀なくされていました。また、事故の後遺症による記憶障害で、昨日起きたことさえ全て忘れてしまう。忘れたくないことはノートに刻み明るく前向きに生きてきました。雅己さんはごく平凡な、笑顔が素敵なタクシードライバー。現在お付き合いをしているOLの彼女にも不満はなく、平穏な生活を送っていました。

ある日、出会うはずのない2人が出会い、恋に落ちる。惹かれあう2人がさまざまな困難を乗り越えてようやくつかんだ幸せ。つかささんのお腹には小さな命が宿り、「この幸せが永遠に続けばいいのに…」と願う、つかささんと雅己さん。しかし、2人を待ち受けていた運命とは想像もつかない過酷なものでした…

原作の「記憶障害の花嫁」も読みましたが、自然に涙が頬を伝いました。あまりにも切なすぎる。障がいがありながら、それでも夢に向かい明るく前向きに生きる、つかささんの生き方に心の底から感動しました。ぜひ、読んだことのない方がいましたら、お勧め致します。映画の撮影現場には雅己さん本人と2人の間に生まれたお子さんが来ていましたが、明るい笑顔で錦戸さんとお話をされていたのがとても印象的でした。

2014年全国東宝系ロードショー。今から公開が楽しみです。

今回は「抱きしめたい-真実の物語-」のロケ地巡りをしてみたいと思います。(文：伊藤敬文)



©2014 映画「抱きしめたい」製作委員会